

未来へ  
もっと

産業の振興と雇用を創出し定住できるまち

賑わいと活力を創出する  
地域産業づくり

雇用の創出と  
就労環境づくり

充実した情報整備と  
魅力的なまちづくり

子どもから高齢者まで  
ともに育み学び合うまち

一人ひとりの個性が  
尊重され思いやりの  
あるまちづくり

妊娠・出産、子育てから  
教育まで切れ目のない支援と  
それを支える地域づくり

生涯にわたる生きがいがづく  
り心の豊かさを高めるま  
ちづくり



安全・安心な暮らしを  
守り支えるまち

安全・安心な暮らしと、  
生活の利便性を支える  
都市基盤づくり

豊かな自然と  
暮らしが調和する  
生活環境づくり

住み慣れた地域で  
安心して暮らせる  
持続可能な仕組みづくり

人輝き あたたかさ湧きでる  
みんなで創造する元気なまち 橋本

第2次 橋本市長期総合計画

橋本市は、伊勢(大和)街道と高野街道が交差する要衝として栄え、豊かな自然の恵みと、人が行き交う中で育まれた歴史ある文化・産業を享受してきました。これらの資源を次世代に継承しながら、新しい時代に対応したまちづくりを進めています。現在、人口減少や少子高齢化といった社会情勢の変化が進む中で、雇用の創出や商工業の振興による経済活動の活性化、保健・医療体制の充実、子育てしやすい環境づくり、生活の安全確保など、多様な課題への対応が求められています。こうした課題に取り組むためには、市民と行政が協働し、地域の力を活かしたまちづくりをさらに進めることが重要です。本市は市民とともに将来を見据え、持続可能で元気なまちを創り出していきます。

ともに  
育てる



ともに  
守る



ともに  
創る



もっと!ハシモト

釣りの醍醐味が味わえる「紀州へら竿」

紀州製竿組合伝統工芸士  
米田喜彦「世志彦」さん



紀州へら竿は、国の伝統的工芸品に認定された和竿です。竹の特性を活かした柔軟な調子と美しい仕上がりが魅力とされます。良質な竹選びから火入れ・継ぎ・仕上げと製作工程には熟練の技が求められます。100年以上前から受け継がれる伝統技法により、一竿一竿に職人の技とこだわりが宿り、釣り人に深い満足感を与える、紀州へら竿です。



紀州へら竿の  
情報はこちら



ともに  
創る

賑わいと活力を創出する  
地域産業づくり

農林業、商業、工業、観光産業、その他サービス業などの産業の活性化、地域産業の経営基盤の強化、はしもと産品のブランド化などにより、賑わいと活力を創出する地域産業づくりを推進します。

活気ある商業

農業や観光と連携した物販や飲食といった新しい商業やサービスを促進しています。まちに活気があふれ、暮らしやすい自立したまちづくりに取り組んでいます。

また、紀北橋本エコヒルズやあやの台北部用地などへの企業誘致の効果で、中小企業の生産力が向上し、安定した雇用が確保できるよう進めています。

さらに、伝統産業では後継者の育成や技術の付加価値を高める取り組みも進めています。

魅力あふれる農業

「はしもとブランド」の農林水産物が広く知られ、橋本市内外の皆さんに支持されるよう展開しています。また、農業振興条例に基づいた各種補助施策により生産基盤の強化に努め、新規就農者等が就農しやすく、魅力を感じられる農業を目指します。さらに、休耕地や耕作放棄地が増えないように抑える施策に加え、地産地消の考え方も市民の皆さんに広がるよう取り組んでいます。

豊富な観光資源

国内外から観光客を呼び込み、自然や歴史、そして高野山麓ならではの農商工文化（農業体験や橋本市ならではの美味しい食事、多彩な物産、伝統工芸品など）を満喫できるまちづくりに取り組んでいます。さらに、地域住民や事業者、団体と連携し、訪れる人々に満足してもらえる地域の特性を活かした観光のまちづくりに取り組んでいきます。



橋本市SDGs





# 雇用の創出と 就労環境づくり

多様な業種の企業を誘致することや、創業・起業の支援などの取り組みにより雇用を創出するとともに、働きやすい環境づくりを推進します。

### 橋本市SDGs



## 就労・雇用の充実

商工業の振興を通じて地域に元気を広げ、若い世代をはじめとする地元での雇用機会創出に取り組んでいます。新しい企業の誘致や地域産業の活性化を進め、働く場を広げるとともに、地域に根付いた技術や技能が受け継がれていくよう支援しています。

また、多様な働き方を応援する制度の紹介や、求人・助成制度などの情報発信にも力を入れ、誰もが安心して働き続けられる環境づくりを進めています。



## 創業・起業を促進

創業や起業をめざす方を応援するために、商工団体と連携したセミナーの開催や、創業経費の一部補助、利子補給など多面的な支援を行っています。

また、ハローワークや学校など関係機関と協力し、年齢や適性に合った就業機会の提供を進め、障がい者雇用の促進や新規就業者の受け入れ強化にも努めています。



## 企業誘致の促進

新規工業団地である「あやの台北部用地」への企業立地やIT関連などのソフト産業の誘致に取り組み、地域経済の活性化や雇用創出につなげています。また、あやの台北部用地をはじめとする企業誘致の整備を進め、環境に配慮した産業づくりを目指しています。

さらに、京奈和自動車道など道路ネットワークの利便性を生かした産業集積やサービス産業の誘致を推進するだけでなく、税優遇および奨励金交付、雇用支援など操業後のフォローまで一体的に行なっています。



### もっと！ハシモト

#### 進出企業インタビュー！

NTN 株式会社 和歌山製作所  
所長 三重野 勇次さん



橋本市に工場を構えた一番の理由は、やはり雇用の確保です。これまで働いてきた従業員が通いやすく、安心して働ける環境をつくりたいと考えました。広い土地が確保できて、物流の便も良いのが決め手です。さらに、地域の方々にも積極的に入社してもらい、一緒にものづくりを進めていきたいと思っています。工場はオール電化の工場なので、環境にも配慮しています。工場見学も積極的に受け入れていて、地元を開かれた企業でありたいと思っています。



企業誘致の  
詳しい情報は  
こちら

## シティプロモーションの推進

市民が地域に誇りを持ち、定住やUターンにつながるようシティプロモーションを進めています。市内外に「橋本らしさ」を発信し、暮らしや観光、産業などの魅力を全国に広げることで、定住人口・交流人口の拡大に取り組んでいます。市民や企業、団体などと方向性を共有し、戦略的に取り組むことで、魅力あるブランドづくりを進めています。



## 移住定住相談の充実

本市の魅力を全国に発信するため、相談会の開催やまち案内を実施し、安心して移住できる環境をPRしています。移住相談をワンストップで受け付ける体制や、地域と連携した定住支援に取り組むほか、住宅支援や空き家の活用も推進しています。

また、若い世代の移住・定住につながるよう、子育てや出産、育児がしやすい環境づくりを進め、誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりに取り組んでいます。



ともに  
創る

## 充実した情報整備と 魅力的なまちづくり

多様な方法による市民目線での分かりやすい情報発信と情報共有に努め、本市が有する多様な資源を見直し・磨きをかけシティプロモーションを推進します。



## 広報活動の充実

市民と行政が情報を共有しながら協働のまちづくりを進めるため、分かりやすく丁寧な広報に力を入れています。広報紙やホームページ、SNS、動画配信など多様な媒体を活用し、リアルタイムで必要な情報を発信。タウンミーティングや意見交換の場も設け、市民の声をまちづくりに生かしています。また、市民と協働したコンテンツづくりや職員研修を通じ、広報力の向上と魅力ある情報発信をめざしています。



## もっと!ハシモト

### 橋本市の動画配信

行政情報や市の魅力を映像と音声でわかりやすく伝えるため、職員が撮影・編集した動画を配信しています。動画配信には「YouTube」を活用し、橋本市公式チャンネルを開設。市の最新情報や施設紹介、地域の魅力などを身近に感じていただけるよう発信を続けています。今後多くの方々に楽しみながら橋本市を知ってもらえるよう、わかりやすく親しみやすい動画づくりを進めていきます。

また、市外の方に橋本の魅力を伝えるため、子育て環境や移住関連情報を「インスタグラム」で発信しています。ぜひ、フォローして、橋本の魅力を共有しましょう。



YouTubeは  
こちら



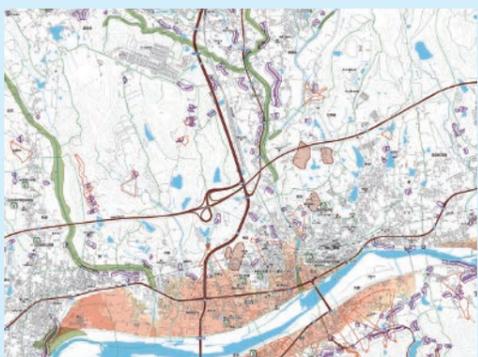
Instagramは  
こちら

### 橋本市SDGs

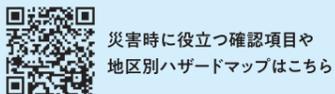


もっと!ハシモト

防災に全力注入!「ハザードマップ」



大雨や台風による浸水・土砂災害から市民の命を守るため、地区別のハザードマップを作成し全戸に配布しました。河川の浸水想定や土砂災害危険箇所を分かりやすく示し、避難所の位置を記載しています。災害時に迅速かつ確かな行動をとるための重要な資料です。自主防災組織と協力し、避難所ごとの運営マニュアルを整備するとともに、防災訓練やハザードマップの活用を通じて、市民の防災意識向上と自主防災組織の育成に力を注いでいます。



災害時に役立つ確認項目や地区別ハザードマップはこちら



ともに  
守る

安全・安心な暮らしと、  
生活の利便性を支える  
都市基盤づくり

災害・犯罪の対策や、交通安全の取組み、消費生活における相談・対応により、安全・安心に暮らせるまちづくりに努めるとともに、公共交通・道路・上下水道など暮らしの利便性を支える都市基盤づくりに努めます。

災害に強いまち

市民の安全・安心を守るため、行政機関や関係団体と連携し、災害時に迅速かつ的確な対応が可能な体制を整えています。防災意識向上のために避難訓練やハザードマップの活用、自主防災組織の育成を進めるほか、物資の備蓄や避難所環境の充実を図っています。また、戸別受信機を活用した防災行政無線システムを導入し、緊急情報を迅速かつ確実に届ける仕組みの構築を通じて、災害に強い地域づくりに取り組んでいます。

消防・救急体制の充実

市民の生命や財産を守るため、消防・救急体制の強化を進めています。消防本部や消防団の施設整備、車両や資機材の更新、専門的な訓練や資格取得の推進を行い、国・県・関係機関との連携も強化しています。救急分野では、適正利用の啓発や資器材の整備、教育体制の充実により、迅速で質の高い活動を目指しています。さらに住民訓練や各種SNSを含む広報活動等を通じて、市民の防火意識向上にも取り組んでいます。

道路整備と安全対策

防災・減災を踏まえた安全・安心の道路づくりを進め、生活の利便性を高める道路ネットワークの形成を進めています。天見紀見トンネル開通後もさらなる都市計画道路の計画的整備を進めるとともに、防災・安全交付金を活用した舗装修繕や防護柵の設置などを実施しています。また、道路施設の長寿命化を図るための点検・修繕を行い、歩行者や自転車の安全・快適な移動空間の確保にも努めています。



橋本市SDGs





豊かな自然と暮らしが調和する生活環境づくり



豊かな自然環境や、魅力的な景観をいかした良好な住環境や公園・緑地の整備・保全に努めるとともに、循環型社会へ向けた取り組みがなされ、環境に配慮したまちづくりを推進します。

### 自然が身近にあるまちづくり

自然に親しみ、学び、守る取り組みが広がっています。学校や地域での環境学習や体験活動を進め、事業者や団体と協力し、環境保全の輪を広げています。里山や水辺の整備を支援し、生きものが生息する豊かな環境を守っています。金剛生駒紀泉国定公園や玉川峡県立自然公園では、市民と連携して自然とふれあう場づくりや保全活動に力を入れています。



### 持続可能な社会の実現

ごみを減らし、繰り返し使い、資源として生かす「3R」の取り組みを推進しています。生ごみの堆肥化や分別の徹底を進め陶磁器をリサイクルするなど、可燃ごみや埋め立てごみを減らすことで、持続可能な循環型社会を目指しています。

効率的な収集体制の見直しや、高齢者などへのごみ出し支援にも力を入れ、区や自治会、事業者とも協力しながら、環境にやさしいまちづくりを進めています。



### 住環境と公園整備

公園では、遊具の安全点検を定期的に実施し、利用者が安心して楽しめる場の提供に努めています。特に杉村やすらぎ広場では、杉村公園と一体的な活用を図り、幅広い世代の方々に親しまれています。また、公園や緑地を適切に管理し、人々の暮らしと自然が調和する空間づくりを目指しています。



### もっと!ハシモト

#### 真土万葉の里 保全プロジェクト



菜の花、ヒマワリ、コスモス——四季折々の花が咲き誇る「真土万葉の里」。17年以上前に地域の皆さんが休耕田を開き、蓮池や休憩所を整え、万葉のロマンを今に伝えてきました。これからも美しい花々が咲く里を未来へつなげるために、市民や事業者、団体などと協働しながら、魅力ある風景づくりを進めていきます。

高齢化が進み維持していくのが大変ですが未来に残すために続けていきます! ボランティア募集中!



真土万葉保存会  
会長 中岡 大作さん

## 医療体制の充実

市民病院では、公立病院として地域の医療機関との機能分化と密接な連携を図り、急性期医療を中心に救急医療を提供し、加えて地域災害拠点病院として市民が安心して医療を受けられる体制を構築しています。近年では手術支援ロボット(ダヴィンチ)を導入し、低侵襲手術による患者負担の軽減を実現し、医療DX化による遠隔ICU事業にも取り組み、地域の基幹病院として、安心・安全の医療を提供していくための医療体制の充実を図っています。



## 支え合えるまちづくり

障がいに対する理解を深め、障がい者の自立と社会参加を支える取り組みを進めています。グループホームや福祉サービスの利用支援、就労支援や成年後見制度の利用促進に加え、市民の理解を広める手話教室も開催。広報や文化活動を通じて交流の場を整え、福祉・保健・教育機関等と連携して、多様な相談に対応できる地域の仕組みづくりも着実に進めています。



ともに  
守る

住み慣れた地域で

安心して暮らせる

持続可能な仕組みづくり

住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう、健康づくりの推進と医療体制の整備、地域における支え合いの仕組みづくりなどの取組みを推進します。また、生活の基盤となる社会保障制度の適正な運用により持続可能な社会の仕組みづくりに努めます。



### 橋本市SDGs



生涯を通じて安心して暮らせるまち

地域で支え合う仕組みを進め、高齢者や障がい者、子育て世帯などが安心して暮らせる地域共生社会を目指します。関係団体や市民、事業者と連携し、生活支援体制の充実や認知症に関する正しい理解の推進、世代間交流、相談体制の強化に取り組めます。



### もっと!ハシモト

みんなで目指そう  
健康づくり

橋本市では、市民の皆さんが主体的に健康づくりに取り組み、いつまでもいきいきと元気に暮らせるまちづくりを目指しています。「健康のために何かしたいけれど、何から始めればいいのかかわらない」「きっかけが見つからない」という方にも、気軽に参加できる健康教室を開催しています。

例えば、健康づくりの基礎を楽しく学ぶことができるヘルスアップ教室や栄養教室、出張講座などを実施しています。生活習慣病の予防や健康の維持のため、「何かを始めたい!」と思った今がチャンス。市民みんなで「いきいき元気なまち はしもと」を目指しましょう。



詳しくはこちら



もっと!ハシモト

「女性電話相談」を開設しています

女性が自分らしく生きることができるまちづくりのために「女性電話相談」を開設しています。

女性相談員が、女性が抱えるさまざまな悩みに一緒に向き合い、気持ちや考えの整理、問題解決のための一歩を踏み出す応援をします。

相談は無料で、秘密は厳守します。一人で悩まないで、まずはお電話ください。

(匿名で結構です。ナンバーディスプレイは使用していません。)

例) 家族・職場・地域の人間関係  
家事・育児・介護……自分だけ?  
家族や友達に話づらいこと  
なんだかモヤモヤ、なんだか不安・心配なこと



- 相談日  
月～金曜日(祝日および年末年始を除きます)
- 相談時間  
9:00～13:00(相談は1回30分程度)
- 対象者  
橋本市内に在住、在勤、在学の女性
- 電話番号(相談専用電話)  
**0736-33-8525**



市の公式LINEから女性電話相談の予約ができるようになりました↑



ともに育てる

家庭・職場・地域などさまざまな分野で仕事と生活の調和を図り、誰もが力を発揮できる環境づくりを進めています。家庭内での役割分担を見直し、男性の育児休業や介護休業制度の活用を促すとともに、ワーク・ライフ・バランスへの理解を深める講演会を開催しています。また、審議会などで幅広い人材が参画できるように取り組みを進めています。

ワーク・ライフ・バランスの推進

男女平等のもとに互いの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を目指しています。性的少数者への理解を深める啓発やパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の推進に取り組むとともに、DV被害の早期発見と支援体制の充実を図ります。さらに、女性の自立やエンパワーメントを支援し、女性団体が連携して地位向上を推進する「女性会議」など、安心して暮らせる地域社会の実現を進めています。

男女共同参画社会の推進

市民一人ひとりが人権を尊重し、ともに生き、支え合う地域社会の実現を目指しています。人権教育や啓発を推進し、相談体制や関係機関との連携を強化することで、人権侵害の予防や早期解決に取り組んでいます。さらに、平和を願う心を次世代に受け継ぐ学びを進め、家庭や地域、学校や職場など生活のあらゆる場面で人権意識を育み、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進し、啓発しています。

人権尊重のまち

互いの人権を尊重するとともに、あらゆる分野での男女共同参画が進み、一人ひとりの個性がいきる思いやりのあるまちづくりを進めます。

一人ひとりの個性が尊重され  
思いやりのあるまちづくり



橋本市SDGs

4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	8 働きがいも経済成長も
10 人や国の不平等をなくそう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう



橋本市SDGs



# 妊娠・出産、子育てから教育まで

## 切れ目のない支援とそれを支える地域づくり

地域ぐるみで子育てに取り組む社会づくりを進めるために、地域、家庭、学校、行政が連携できる仕組みをつくり、子育て・子育て支援の充実と、質の高い学校教育を推進します。



### 母子保健・保育サービスの充実

子育て応援課（こども家庭センター「ハートブリッジ」）を中心に、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制を整え、安心して子どもを育てられる環境づくりを進めています。健診や相談、教室を通じた情報提供や仲間づくり、地域や関係機関との連携による見守り体制を充実。また、保育園・認定こども園や低年齢保育、発達支援保育の拡充、学童保育の整備に取り組み、地域ぐるみで子どもの健やかな成長を支えます。



### 地域・家庭・学校の連携

子どもの豊かな成長のため、地域の多様な知識や経験を活かし、学校を核とした子育ての取組みが進められています。地域・家庭・学校・行政が連携・協働することで、子どもと大人のつながりが深まり、将来を担う人材の育成や持続可能な地域社会の形成につながっています。また、共育コミュニティや放課後ふれあいルーム、地域食堂（こども食堂）など地域資源を活用し、安心して過ごせる環境づくりも推進しています。



### 可能性を育てる学校教育

主体的に学べる学校づくりを進めるとともに、学校・地域・行政が連携し、保護者の相談に対応できる仕組みを整えています。家庭や地域との協力により、豊かな心や健やかな体を育み、学力向上や能動的な学び、ESD（持続可能な開発のための教育）の推進を行います。ICT環境や学校施設の整備、特別支援教育や児童発達支援の充実も図り、地域ぐるみで子どもの可能性を引き出す教育を実現していきます。



### もっと！ハシモト

#### 家庭をあたたくつなぐ「ヘスティア」

必要とされるチームとして存続していくことが目標です

ヘスティア 代表 森田知世子さん

橋本市家庭教育支援チーム「ヘスティア」は、地域と行政が協力して

子育てを支えることを目的に、2008年から活動を続けています。子どもから大人まで誰もが安心して集える居場所づくりを大切に活動してきました。楽しみながら子育てを考え合えるイベントや世代を超えた交流の場に加え、心と体をリフレッシュできる講座も開催。子育てに関わるすべての人を対象に、様々な催しを行い、個別相談では「イライラやモヤモヤ」「不安や心配」を誰かに聞いてもらえる場を提供しています。地域と家庭をあたたく結び、子育てをともに支え合う存在として、これからも歩み続けていきます。

橋本市健康福祉部 家庭教育支援室

〒648 8585 橋本市東家一丁目1番1号

(橋本市保健福祉センター内)

TEL0736-33-2129(土日祝日除く)平日 8:30~17:00

hestia@city.hashimoto.lg.jp

**まちの歴史文化を残す**

歴史や文化財、偉人に関する理解を深め、市民の故郷への誇りと愛着を育んでいます。世界遺産「高野参詣道・黒河道」の保全や情報発信、文化財の調査・展示・講座・体験教室を推進。

また、県指定無形民俗文化財「嵯峨谷の神踊り」は室町時代に起源がさかのぼるとも言われ、保存・継承に努めています。歴史的環境や景観の保全も進め、地域の歴史文化を次世代へ伝えていきます。



ともに育てる

生涯にわたる生きがいづくりと心の豊かさを高めるまちづくり

子どもから高齢者まで生涯にわたる生きがいづくりと心の豊かさを高めるために生涯学習を推進するとともに、生涯スポーツの振興や青少年の健全育成を推進します。また、併せて文化芸術の振興や豊かな歴史遺産の保存と活用を進めます。

**生きがいづくりの文化・スポーツを推進**

あらゆる年代の市民が集い学び合える場や地域ぐるみで子どもや高齢者を見守る環境を整えています。共育コミュニティや生涯学習の講座・教室を通じて、学びと学習成果発表の機会の提供に努めています。さらに、スポーツ施設やサークル支援、体験会や市民大会を通じ、誰もが運動を楽しみ健康を増進できる環境を整備し、世代を超えた交流と地域活性化を推進しています。

**協働のまちづくり**

市民と行政がお互いに協力し合う協働のまちづくりが進んでいます。その基本的な考え方やルールを定めた「橋本市の自治と協働をはぐくむ条例」の周知やタウンミーティングを通じて多様な立場の人々が連携し、より良い地域の実現を目指しています。

また、市では市民活動サポートセンターを設置し、市民活動団体やボランティアの運営サポート、人材のマッチングを行い、地域全体での支え合いを積極的に推進しています。



橋本市SDGs

3 持続可能な消費と生産	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう
8 働きがいも経済成長も	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを
17 パートナリシップで目標を達成しよう		

**もっと!ハシモト**

**「子ども冒険村」**  
たくましく、希望に輝く、感動の村



自然豊かな環境の中で開催される「子ども冒険村」は、子どもたちが新しい仲間と出会い、協力しながらさまざまなプログラムに挑戦する体験型のイベントです。

野外炊飯や創作活動などの活動を通じて、子どもたちは達成感や充実感を味わい、日々の生活への感謝の気持ちを育みます。

このイベントは、子どもたちにとって「たくましく、希望に輝く、感動の村」となることを目指しています。

橋本市教育委員会 生涯学習課  
〒648-8585 和歌山県橋本市東家一丁目1番1号  
TEL0736-33-6112 FAX0736-33-2657



本会議の様子をYouTubeでライブ配信、録画配信しています。



議会のHPから会議録や議会広報紙を読むことができます。



橋本市議会広報紙

橋本市議会は、市民の代表として市政の重要事項を審議・決定する議決機関です。条例の制定や改廃、予算・決算の審議、行政運営の監視などを通じて、市民の暮らしに関わる幅広い課題に取り組んでいます。定例会は年4回開催されます。議員は市民の声を反映させるため、活発な議論や提案を行っています。また、インターネット中継や動画配信、SNSの活用など、議会活動の情報発信にも力を入れており、誰もが市政に関心を持ちやすい環境づくりを進めています。

## もっと身近に、 もっと開かれた議会

## 国際交流 次代を見据えて世界とつながる橋本市

海外との交流を通じて相互理解と友情を育んでいます。海外姉妹・友好都市との交流や留学生の受け入れなど、多彩な活動が市民と世界をつないでいます。

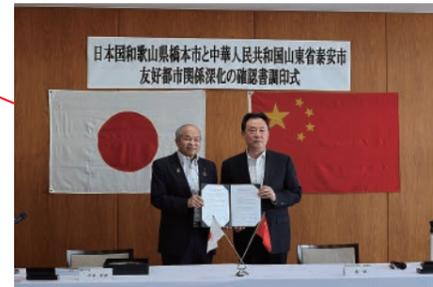


友好都市  
泰安市  
(中国 山東省)



2025年4月  
ロナ・パーク市から本市へ送られた書簡

姉妹都市  
ロナ・パーク市  
(米国 カリフォルニア州)



姉妹都市

ロナ・パーク市(米国 カリフォルニア州)

ロナ・パーク市は、サンフランシスコの北80kmに位置する人口4万3千人の緑美しい街です。

橋本市内の県立高等学校の生徒がロナ・パーク市でホームステイしたのがきっかけとなり、確かな都市計画に基づき新しい住宅都市として発展する姿が橋本市と共通することから、昭和58年(1983)11月に姉妹都市提携の調印がなされました。

平成25年(2013)には、姉妹都市提携30周年記念として橋本市公式訪問団がロナ・パーク市を訪問し、市長をはじめ市民との交流を深めました。また、橋本市国際親善協会主催で両市の学生親善大使各1名を約10日間相互派遣するなど、代表団の相互訪問、民間交流、市内中・高校生のホームステイなど多彩な交流事業で絆を深めています。

友好都市

泰安市(中国 山東省)

泰安市は山東省の中央に位置し、市内には中国道教の聖地で中国五岳の雄・泰山があります。空海が開いた真言密教の聖地高野山を望む橋本市との友好都市提携は、昭和60年(1985)に山東省城鎮開発考察団が当市を訪問したことがきっかけとなり、昭和62年(1987)5月に調印がなされました。

悠久の歴史文化が息づく両市の交流事業は、代表団の相互訪問や友好学校の交流、農業・商工業考察団の交流をはじめ、語学研修生の受け入れ・派遣、泰安市の書家を招いての友好書画展の開催など多岐に渡り、その絆は歲月とともに固く結ばれています。

また、令和6年7月には、6名の訪問団が、両市政府間の友好交流を一層促進することを目的として来橋されました。

# HASHIMOTO 20th HISTORY

橋本市のあゆみ

旧橋本市と旧高野口町が合併し、令和8年に市制施行20周年を迎えます。ここでは、皆さんとともに歩んできたわがまちの歴史を振り返ります。



**2018**  
平成30年

9月  
新学校給食センター  
開設

**2019**  
令和元年

11月  
ねりんピック紀の国  
わかやま2019開催



3月  
恋野橋  
架け替え



ハートの装飾が  
かわいいぼう



庁舎前でテープカットが行われ  
新しい市の出発を祝いました  
**祝 新「橋本市」開庁式**

**2006**  
平成18年

3月  
旧橋本市・旧高野口町が  
合併し、新橋本市誕生

4月  
橋本高野橋開通

**2015**  
平成27年

9月～10月  
2015紀の国わかやま国体

9月  
国道371号(橋本バイパス)  
全線4車線供用開始

「紀伊山地の霊場と参詣道」の  
一部として、追加登録



10月  
黒河道が世界遺産に登録



**2014**  
平成26年

1月  
橋本市のマスコット  
キャラクターが  
「はしぼこ」に決定!



じゃいちゃん

1月  
高野口小学校校舎が  
国の重要文化財に指定



各地への移動がスムーズになり  
まちの発展に大きく貢献!

**2007**  
平成19年

8月  
京奈和自動車道  
橋本道路全線開通

**2011**  
平成23年

10月  
橋本北消防署開署

**2013**  
平成25年

1月  
保健福祉センター開設



8月  
紀の川橋本サマーボール2013(第1回)開催

20周年を祝う  
イベントが  
たくさん!

**2026**  
令和8年

3月  
橋本市制施行20周年



橋本市は、より豊かな  
未来を目指して行きます!

**2025**  
令和7年

4月  
橋本市制20周年  
お祝いの1年スタート

橋本市と大阪府河内長野市を結ぶ  
国道371号バイパスのトンネル



**2024**  
令和6年

6月  
天見紀見トンネル開通



11月  
杉村やすらぎ広場オープン

**2021**  
令和3年

10月～11月  
紀の国わかやま文化祭2021

未来へもっと 橋もっと  
**祝 橋本市制20周年**



# 橋本市ガイドマップ



**和歌山県橋本市**  
 面積:130.55km<sup>2</sup>  
 人口総数:58,409人  
 (女:30,774人 男:27,635人)  
 世帯数:27,562世帯  
 (2025年6月30日現在)

## 主要都市からのアクセス

- 車で**  
 京都・大阪方面から 美原北ICより約60分  
 近畿自動車道 ▶ 阪和自動車道・美原北IC ▶ R309 ▶ R170 ▶ R371
- 神戸方面から 大阪市より約60分  
 高速3号神戸線 ▶ 環状線 ▶ 南阪奈道路 ▶ 大和高田バイパス ▶ 京奈和自動車道・橋本IC
- 奈良方面から 郡山ICより約50分  
 西名阪自動車道・郡山IC ▶ 京奈和自動車道・橋本IC
- 関西国際空港から 約60分  
 関西国際空港自動車道 ▶ 阪和自動車道・和歌山JCT ▶ 京奈和自動車道・橋本IC
- 電車で**  
 大阪方面から 南海高野線なんば駅より約60分  
 奈良方面から JR和歌山線王寺駅より約60分

## コミュニティバスについてはコチラ

コミュニティバス「はっこバス」や  
 デマンド(予約型乗合)タクシーを運行しています。



紀の川の妖精だぼう!



橋本市マスコットキャラクター「はしぼう」

## 橋本市のシンボル



市の花「さつき」  
 市の木「もくせい」・「さくら」